

めるへん



発行 社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 TEL72-5513 FAX72-2816
大分県玖珠郡玖珠町大字岩室24番地の1 (くすまち総合福祉センター内)

玖珠郡総合防災訓練で

災害ボランティアセンター

運営訓練を行ないました!



6月4日に玖珠川河川敷にて、玖珠郡総合防災訓練が開催されました。

この訓練は、消防や警察、役場そして自衛隊が連携して、災害などの発生時に効果的な救難救助が行えるように備えておくために実施されました。

社会福祉協議会では、災害発生時は被災地域支援の一環として、「災害ボランティアセンター」を開設します。

訓練ではボランティアの方々に協力頂き、センターの流れを模擬体験しました。受付から派遣先への送り出しまで行ない、実際に救護所や炊き出しまでしていただきました。

今回の様な訓練を積み重ね、実際に災害が起こった際には、適切な対応が出来るように取り組んでいきたいと考えています。



平成24年度 玖珠町社会福祉協議会事業報告書

平成25年5月30日 理事会認定・評議員会承認

◆理事会(5回)、監査会(1回)、

評議員会(4回)、主任会議(8回)、

事務局会議(1回)

◆共同募金・歳末たすけあい募金運動の実施

- 赤い羽根共同募金運動実績 2,610,277円(平成25年度配分予定額 1,358,000円)
- 平成24年度地域配分金使途内容 福祉団体支援・地域福祉活動事業等 総額1,358,000円
- 歳末たすけあい募金運動実績 667,616円
- 歳末たすけあい募金配分内容 各種見舞金 他

◆福祉啓発・調査活動

- 広報活動の実施(情報誌めるへん隔月発行)
- ふれあいいきいきサロンの設置・充実(町内47カ所、新規14カ所設立)
- 健康福祉事業推進委員会事業の共催(3事業を実施)
- 東日本大震災復興支援「エクレール」上映会実施(事務局支援)
- ご意見箱の設置、交通安全意識啓発・向上

◆在宅福祉サービス(独自事業・委託事業)

1. 独自事業
 - 1) 介護保険事業
 - ① 居宅介護支援事業(ケアプラン作成・契約・給付管理業務)
介護予防延べ利用人員 458人/介護保険延べ利用人員 1,027人
 - ② 訪問介護・予防訪問介護事業(ホームヘルプサービス)
実利用人員 67人 延べ利用人員 5,883人
 - ③ 通所介護・予防通所介護事業(デイサービス)
実利用人員 108人 延べ利用人員 7,151人
 - 2) 障害者自立支援事業
 - ① 居宅介護(ホームヘルプサービス)
実利用人員 5人 延べ利用人員 502人
2. 委託・補助事業
 - ① 地域包括支援センター運営事業
介護予防ケアプラン件数(作成 414件、評価 227件)
予防給付件数 2,372件、相談件数 376件
 - ② 老人福祉センター運営事業
延べ利用者数 13,739人 年間会場使用 57回
 - ③ いきいき元気教室事業
延べ利用人員 1,758人 開所日数 84日
 - ④ 男性ふれあい広場
延べ利用人員 209人 開所日数 12日
 - ⑤ 軽度生活援助事業
年間延べ利用回数 29回 年間実利用人員 23人
 - ⑥ 給食サービス事業
年間実施回数 32回 年間延べ利用人員 1,973人
 - ⑦ ファミリーサポートセンター事業
活動件数 456件
 - ⑧ 要介護認定訪問調査
年間回数 50回
 - ⑨ 視覚障害者日常生活情報提供事業
点訳利用者 1人 音訳利用者 1人
 - ⑩ 生活福祉資金貸付事業
年度内貸付件数 0件 貸付総件数 37件
 - ⑪ 夏のボランティア体験学習
参加者数 19人
 - ⑫ 小地域ボランティアリーダー養成講座開催事業
開催回数 6回 延べ参加人数 169人
 - ⑬ 日常生活自立支援事業
新規契約数 2件 年間延べ支援回数 42回
 - ⑭ ふれあいサロン活動拠点整備事業
対策地区数 11地区

◆一般福祉諸活動

- 1) 総合相談事業
 - ① 法律相談 開設日数 6日 相談件数 29件
 - ② 心配ごと相談 開設日数 12日 相談件数 5件
- 2) 九州北部豪雨災害被災地支援活動(職員派遣)
・日田市12名 ・中津市2名 ・竹田市11名
- 3) 法外更生資金貸付事業
年度内貸付件数 15件 貸付金額 1,049,875円
- 4) 死亡者への弔意及び罹災世帯への見舞等
 - ① 香典 件数 251件
 - ② 罹災見舞い 件数 9件
- 5) 寄付金品の受納
 - ① 一般寄付 17件
 - ② 香典返し 138件
 - ③ 見舞い返し 2件
 - ④ 現金換算物品 6件
- 6) 福祉機器貸出事業(3ヶ月間無料)

① 車イス	35回	⑤ 歩行器	2回
② ポータブルトイレ	6回	⑥ シャワーベンチ	4回
③ 電動ベッド	7回	⑦ 松葉杖	3回
④ 四点杖	1回		
- 7) 福祉団体支援活動
 - ① 事務局支援団体
 - ・老人クラブ連合会(郡・町) ・身体障害者協議会(町)
 - ・ボランティア連絡会 ・民生児童委員協議会
 - ・歳末たすけあいチャリティーショー実行委員会
 - ・健康福祉事業推進委員会
 - ② 事務局外支援団体
 - ・母子寡婦福祉会 ・たんぼほの会(知的障害者育成会)
 - ・玖珠町保護区保護司会 ・むつみ会(玖珠共同作業所)

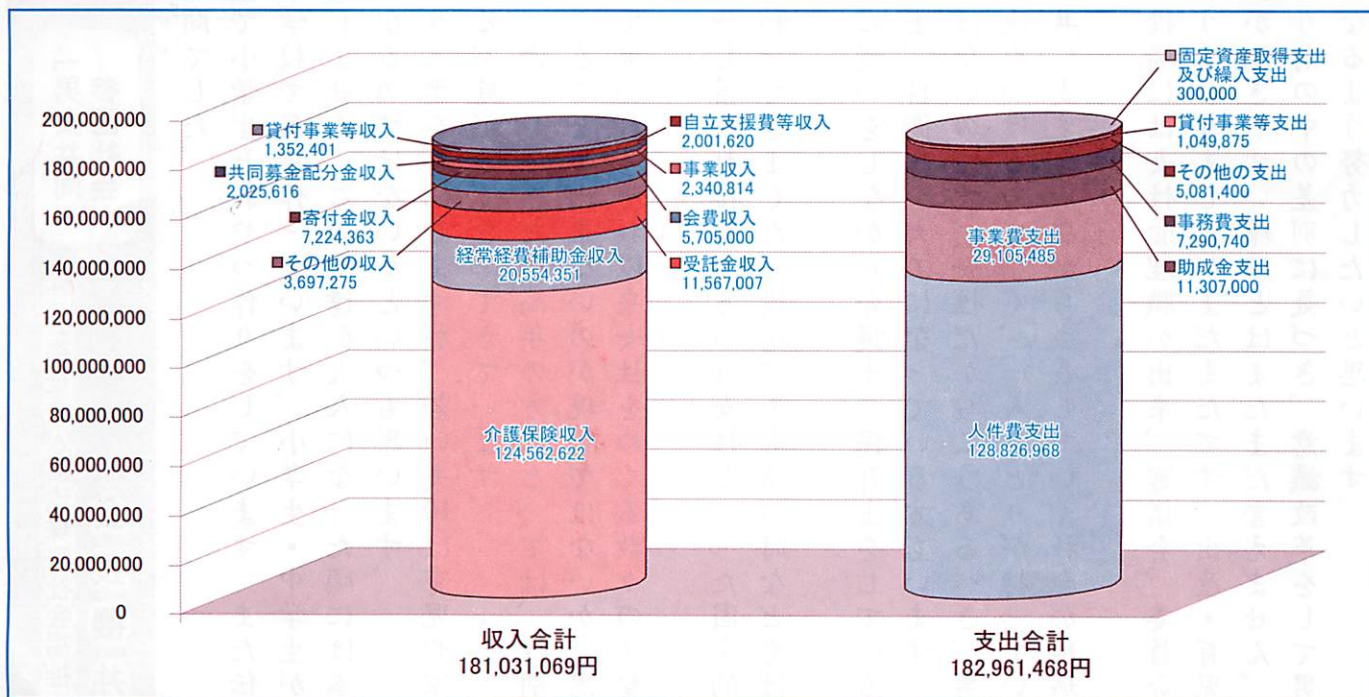
平成24年度 玖珠町社会福祉協議会決算状況

平成25年5月30日 理事会認定・評議員会承認

一般会計資金収支決算書

(自) 平成24年4月1日 (至) 平成25年3月31日 (単位: 円)

勘定科目		決算額
經常活動による収支	収入	
	会費収入 (皆様からの会費収入です)	5,705,000
	寄附金収入 (皆様からの寄附金・香典返しの収入です)	3,697,275
	經常経費補助金収入 (町からの補助事業補助金収入です)	20,554,351
	受託金収入 (県・町からの委託事業委託金収入です)	11,567,007
	事業収入 (実施事業からの収入です)	2,340,814
	その他の事業収入 実施事業の利用料などの収入です	1,841,488
	チャリティーバザー収入 皆様から頂いた物品のバザーでの売上げ金額です	499,326
	共同募金配分金収入 (赤い羽根募金・歳末たすけあい募金実績から配分された収入です)	2,025,616
	共同募金配分金収入 赤い羽募金の内訳です	1,358,000
	歳末たすけあい募金配分金収入 歳末たすけあい募金の内訳です	667,616
	介護保険収入 (介護保険事業での収入です)	124,562,622
	自立支援費等収入 (障害福祉事業での収入です)	2,001,620
	貸付事業等収入 (社会福祉協議会の貸付金返還金収入です)	1,352,401
	その他の収入 (上記以外の収入です)	7,224,363
	合 計 ①	181,031,069
	支出	
	人件費支出 (社協役職員の人件費です)	128,826,968
	事務費支出 (社協事務局・事業事務費の支出です)	7,290,740
	事業費支出 (委託事業・介護保険事業などの事業費支出です)	29,105,485
	助成金支出 (県からの補助事業・共同募金からの助成金支出です)	11,307,000
	貸付事業等支出 (社会福祉協議会の貸付金貸付額です)	1,049,875
	その他の支出 (上記以外の支出です)	5,081,400
	固定資産取得支出及び繰入支出 (固定資産購入の支出です)	300,000
	合 計 ②	182,961,468
当期資金収支差額合計 ③=①-② (平成23年度の収入から支出を引いた差額です)		△1,930,399
前期末支払資金残高 ④		91,943,463
当期末支払資金残高 ⑤=③+④		90,013,064



◇ 財務帳票を閲覧できます ◇

玖珠町社会福祉協議会では、法人の財務帳票を閲覧することが出来ます。
ご希望の方は、事務局へお申し出ください。

社会福祉協議会へ



(平成25年4月18日
～平成25年6月18日)

香典返し

清田川 秋吉 博 様	戸 畑 煤 溪 孝 文 様	瀬 戸 口 林 口 博 信 様	片 草 吉 住 久 生 様	横 町 小 手 川 良 子 様	上 田 新 町 佐 藤 三 千 代 様	木 牟 田 上 野 康 紀 様	堤 神 田 一 生 様	中 塚 脇 麻 生 彰 久 様	上 町 下 竹 本 泰 明 様	九 日 市 小 野 一 紀 様	上 町 上 野 北 一 男 様	帆 足 佐 藤 秀 次 様	田 ノ 平 高 倉 ま ゆ み 様	平 原 宿 理 昭 憲 様	治 別 当 高 橋 仁 美 様	田 中 太 田 芳 則 様	小 原 梅 木 正 生 様	伏 原 河 上 隆 幸 様	九 重 町 松 木 進 善 哉 様
------------	---------------	-----------------	---------------	-----------------	---------------------	-----------------	-------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	---------------	-------------------	---------------	-----------------	---------------	---------------	---------------	-------------------

寄付金

目黒市天瀬町 穴井 高喜 様
玖珠ライオンズクラブ 様
匿 名 2 件

物品寄与

四日市 八尋 信明 様
友 成 腎 友 会 様

ご本人ご家族の了承を得て掲載しています

ありがとうございました



おおいた国体マスコットキャラクター
「めじろん」

「如実知見」

「男女共同
参画社会」

社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会

会長 櫻井 哲子

6月には男女共同参画週間でした。

私は放課後子ども教室で小学生とおやつ作りをしています。また伝承料理である子育てだんご汁を中学校で毎年作っています。小学生・中学生が調理する中では男女差別は全く感じません。この子達が大人になった頃には本当の意味での男女共同参画社会になるのではないかと思います。

現在「イクメン」という言葉を耳にしますが、若い夫婦は育児や家事をお互いに分担して協力している家庭が多くなっています。

しかし家父長制度の中で過ごしてきた中高年の方にとっては、性別役割分担意識から、なかなか抜けきることが出来ないのが現状ではないかと思っています。

戦後、男女平等が憲法で謳われ、それ以来女性をめぐる数々の法整備が出来てきました。

昔でしたら介護する人やお茶入れ接待するのは女性といった固定的な概念がありました。現在は変わってきました。役場でも会議の時など男性職員がお茶をいれてくれます。

男性の中にも細やかな心遣いをしながら介護士や保育士をしている方も多いです。女性の中にも消防士、自衛隊、大工になっている方もいます。

女だから、男だからではないのです。女性だからこうあるべき、男性だからこうなければならぬと決めつけるのではなく、一人ひとりが持っている個性を十分に発揮して、男女が共に支え合いながら成長していく社会が地域の発展に繋がると思います。

玖珠町にも女性議員、役場には女性管理職が出来、審議会、委員会などにも女性がかかり見られるようになりましたがまだまだです。出産・育児・介護などのことを考えると女性が働きやすい環境とはまだまだ言えません。

家庭・職場・地域の当たり前の差別に気づき、意識改革をして男女を問わず明るく住みよい社会になるよう努力したいと思っています。

8月・9月のスケジュール

日	月	火	水	木	金	土
7/28	29 ■老人福祉センター 休館日	30 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	31 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線)	8/1 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	2 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線)	3 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
4	5 ■老人福祉センター 休館日 ■給食サービス	6 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	7 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	8 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	9 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	10 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
11	12 ■老人福祉センター 休館日	13 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	14 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線)	15 ■ふれあい福祉バス (小野原線) ■給食サービス	16 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線)	17 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
18	19 ■老人福祉センター 休館日	20 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	21 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 ■法律相談会(要予約) (ともに老人福祉センター)	22 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	23 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	24 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
25 ■給食サービス	26 ■老人福祉センター 休館日	27 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	28 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 ■心配ごと相談会 (ともに老人福祉センター)	29 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	30 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	31 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
9/1	2 ■老人福祉センター 休館日	3 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	4 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	5 ■ふれあい福祉バス (小野原線) ■給食サービス	6 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	7 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
8	9 ■老人福祉センター 休館日	10 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	11 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	12 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	13 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	14 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
15 ■給食サービス	16(敬老の日)	17 ■老人福祉センター 休館日 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	18 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	19 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	20 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	21 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
22	23(秋分の日)	24 ■老人福祉センター 休館日 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	25 ■給食サービス ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■男性ふれあい広場 ■心配ごと相談会 (ともに老人福祉センター)	26 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	27 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線)	28 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
29	30 ■老人福祉センター 休館日	10/1 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	2 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線)	3 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	4 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線)	5 ■おもちゃ図書館 (福祉センター) ■給食サービス

先日、玖珠郡総合防災訓練に社協としてボランティアセンターの受入れ訓練で参加しました。改めて地域や行政、住民同士連携がとても重要であることを確認しました。そのような中で、私たちが出来ることは何かを自覚しつつ、日々の備えを確実にすることを社協でも心がけています。そして、今までの出来事から教訓を得て、忘れずに繋いでいくことが何より大切に感じる今日この頃です。(A)

今年度の夏は猛暑になると予想されていました。電力不足で節電を心がけつつも、熱中症にならないように気をつけましょう。

さて昨年のこの時期は九州北部豪雨災害が発生し、県内でも多くの地域に爪痕を残しました。このような災害は何時どこでどのような規模で発生するかわかりませんが、発生からこそ迅速な対応が必要となってくると思います。懐中電灯や持ち出し袋・食料品等を備えている、または避難場所を確認しているという人はまだまだ多くないようです。

先日、玖珠郡総合防災訓練に社協としてボランティアセンターの受入れ訓練で参加しました。改めて地域や行政、住民同士連携がとても重要であることを確認しました。そのような中で、私たちが出来ることは何かを自覚しつつ、日々の備えを確実にすることを社協でも心がけています。そして、今までの出来事から教訓を得て、忘れずに繋いでいくことが何より大切に感じる今日この頃です。(A)

編集後記



みなさんの声募集中

めるへんでは皆様の声を募集しています。紙面に関するご意見、ご質問又は福祉に関する疑問など何でもOK。もし何かございましたら玖珠町社会福祉協議会までお寄せ下さい。

くすライオンズクラブより

寄付金いただきました！

6月6日に玖珠ライオンズクラブより寄付金を頂きました。ライオンズクラブは「われわれは奉仕する」をモットーに社会奉仕活動を行う世界最大の団体で、当町では1963年に結成され、活動として献眼・献血・献腎活動や社会福祉施設の慰問など多岐に亘る奉仕活動に取り組まれています。

当日は櫻井社協会長がライオンズクラブの例会に伺い、ライオンズクラブの秋好会長より寄付金の贈呈を受けました。

社協では今回いただきました寄付を地域福祉活動に有効に活用させていただきます。

ライオンズクラブの皆さま、誠にありがとうございました。



十の釣いきいきサロン

くるま座

世話人 大谷 徹子
梅野芙美子
吉武 愛子

サロン開設から早いもので4年目になります。「くるま座」の由来は上下無く円形で、どこに座っても、皆が主人公になれる様に名付けました。近頃はサロンの日を楽しみにして早く来た人が椅子を出したり、終わると片付けをしてくれたり、ワイワイガヤガヤ、とても元気で現役婦人会のようです。ピアノ教師の世話人がいて、毎回音楽リハビリをしています。身体を動かしたり、大きな声で歌いコーラスもします。敬老会をしてもらった時には、お礼の手話コーラスなどを披露し喜んで頂きました。笑顔がステキで、少年少女合唱団の様でした。6月は、わらべサークルから「くすパペット」山本先生の人権講座とコールメルヘンのコーラスを楽しみました。

先日新聞の短歌のコーナーでメンバーの作品が出ていました。「あっ、この前作った空瓶利用のペン立てのことだ」と嬉しく思いました。「空瓶に色紙張りたるペン立ての老吾が机のはなやぎて見ゆ 穴井フミエ」

これからも皆さんの特技、個性を大切に、共に楽しく活動していきたいと思います。

